

全国のリスナー・読者のみなさんから、
ファミリー・フォーラム宛に、Eメールやお便りを頂いています。
その一部をここで紹介いたします。

○先日は「奇跡の9か月」、続いてマガジンをお送りくださりありがとうございました。「奇跡の9か月」は実に有益で、必要とされていると痛感しました。妊婦さん自身のデボーションに最適ですし、将来出産を願う女性の学びや男性教職の学びにも最適と思います。マーケットが狭くなりがちな分野にもかかわらず、出版されたことに敬意を表します。マガジンは、回復に強い焦点を当てた誌面づくりに感激しています。教派教団を超えて、よいものをご紹介されていることに意義を覚えます。理論的なことよりナマの証を優先しておられ、いよいよ分かりやすい誌面になってきたと思います。(愛知県 Mさん)

○マガジン52号を読みました。とてもチャレンジングですね。神さまは私たちに対して、この世に向けて、どのような働きを期待しておられるのでしょうか。素晴らしいものを作ってください、ありがとうございます。(奈良県 Fさん)

○映画評「ファーストーム」を読みました。まだ見ていませんが、夫婦の愛情を壁を乗り越えながら再び築き上げていくその核心が伝わる内容でした。自分も似たような過程にあることも、再度共感しました。私は相変わらず、仕事に全エネルギーを振り向けてしまい、妻に優先順位の間違いを指摘されて反省させられることしきりです。そんな中ですので、夫の命をかけた仕事の姿を見て妻がほれ直すといったかっこよさなどとは無縁で、妻との愛ある生活は、妻との関係の中で直面するという目立たぬ勇気をもつことが現実的なのだと教えられました。心に伝わる記事を読めることを楽しみにしています。(東京都 Kさん)

○マガジン秋号をお送りくださり、ありがとうございます。

依存症の特集記事は興味を持って読みました。また個人的に目を引いたのは、「ケイティ・コールの整理術」です。今の教会に遣わされてからずっと「家を片付けられるようにしてください。私にはそれができませんから、あなたの助けが必要です」と祈り続けている者です。まさにタイムリーです。何回も読み、変えていただきたいと願っています。(千葉県 Mさん)

○昨年より教会でファミリー・フォーラム誌を用いて家庭セミナーを行っています。9月より内藤先生の本から学んでいます。ケイティ・コールさんの「整理術」のような、実生活に役立つテーマを今後も希望します。(長野県 Hさん)

○金子様 悪天候の中、札幌まで来て頂き感謝申し上げます。「Dr. ドブソンのファミリーコラム」の時から拝聴しています。長女30歳、長男20歳。子育てを通して自分も学ばせて頂きました。小学校の節目の時に男同士で9日間道内を回り、日本海で泳がせ、オホーツク海で泳ぎ、太平洋で泳がせて羅臼岬に登り、上りに7時間、下り7時間やりとげたという体験を男同士で味わいました。今でも「苦しかったけど楽しかった」と長男は言います。長女はお母さんと旅行に、女同士で思い出を創って来ました。子ども二人とも優しい強い子になってくれました。20年間のプロジェクトです。小さい時から目標を持ち最後まであきらめない、お金の面にしても自分で考えて使うことを教えて来ました。ファミリー・トークは本当にヒントになりました。(北海道 Tさん)



○先日お送りいただいたDVD『男の子を育てる』を用いた学びを10月から開始しています。

毎回30人弱の参加者が与えられ、好評です。私自身の子育てにもおおいに役立ちます。

来年の2月中旬までのシリーズでスケジュールを組んでいますが、そのうちお父様方にも見ていただける機会をと祈っています。FFJがこうして海外でも用いられていることを感謝しています。(米国カリフォルニア州在住のSさん)



お便り募集

編集部では、皆様からのご意見や感想をお待ちしています。

home.office@ffj.gr.jp
TEL&FAX045-933-3875

